



Pyramix V16 Release Note

インストールについて

Pyramix 16.0 インストーラー情報

Microsoft が 2025 年 10 月 14 日に Windows 10 のサポートを終了したため、Pyramix 16.0 / Ovation 12.0 以降は Windows 10 は公式にはサポートされなくなりました。

Pyramix 16.0 は、以下のオペレーティングシステムと互換性があります。

Windows 11 Professional (64ビット): MassCore/RAVENNA、ネイティブおよびネイティブ/RAVENNA ASIO

Pyramix 16.0 は Windows 11 アップデートでサポートされています。

25H2 は Pyramix 15.0.8 Hotfix 2 以降でサポートされています。

24H2 OS Build 26100.5074 -KB5064081 は Pyramix 15.0.8 Hotfix 2 以降でサポートされています。

24H2 OS Build 26100.4351 -KB5063060 は Pyramix 15.0.7 Hotfix 以降でサポートされています。

24H2 は Pyramix 15.0.4 Beta4 以降でサポートされています。

23H2 は Pyramix 14.1.0 Beta1 以降でサポートされています。

22H2 は Pyramix 14.0.3 Hotfix 2 以降でサポートされています。

警告: RTX64 Runtime は、Windows 11 24H2 OS ビルド 26100.4349 - KB5060842 と互換性がありません。

この問題を解決するには、Windows 11 24H2 OS ビルド 26100.4351 (KB5063060) をインストールして RTX64 を使用してください。

Windows のビルド バージョンを確認するには、Windows の検索フィールドに “About your PC” と入力してください。

警告: MassCore および Intel 第 12 世代 / 第 13 世代 CPU は Pyramix 14.1.0 および RTX64 4.4 が必要です。

警告: MassCore および Intel 第 14 世代 CPU は Pyramix 15.0 および RTX64 4.5.1 (またはそれ以降) が必要です。

警告: Pyramix 16.x は第 4 世代 Intel Core プロセッサ (4XXXK 以上) でサポートされており、それ以前の世代のプロセッサでは起動しません。

警告: Pyramix 16.x は Windows 7 および Windows 10 ではサポートされていません。

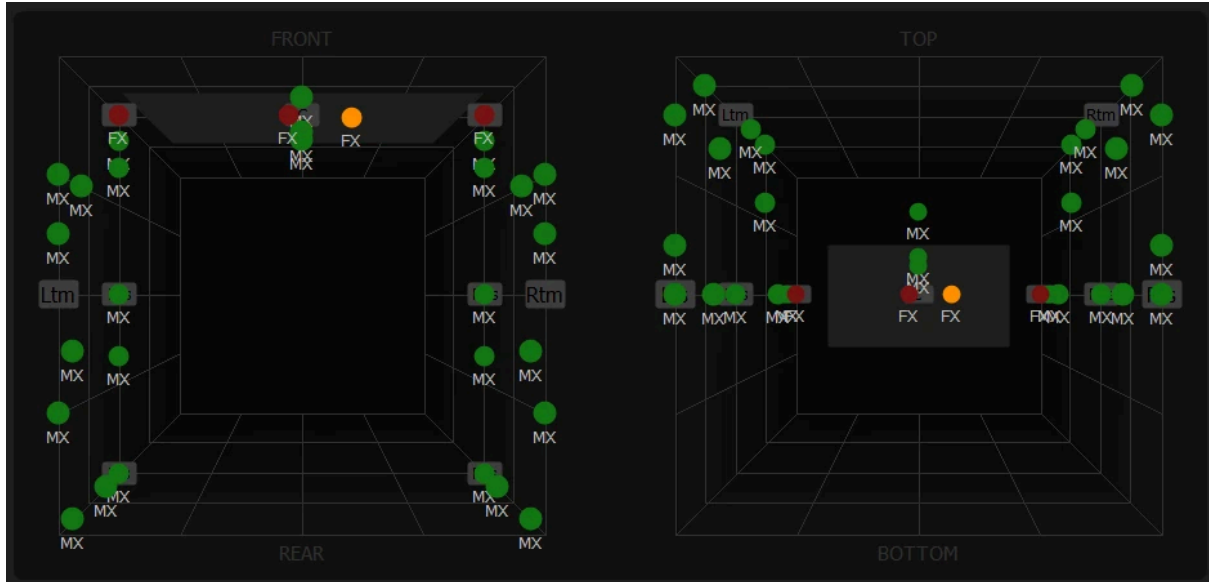
Pyramix 16.0 インストールについての注意

- 重要な注意: Pyramix 16.0 をインストールする前に、以前のバージョンの Pyramix をアンインストールしてください。
- Womdpws コア分離 - Windows設定 > Windows Update > ファイアウォールとネットワーク保護 > デバイス セキュリティ > コア分離 は「無効」に設定してください。
- Pyramix 16 のリリースより、Sagenet USB ドングル サポートは中止となります。
- Fluxプラグインは Pyramix インストーラーに含まれなくなりました。ただし、ASMを介して以前のバージョンからアップグレードする既存のユーザーは Flux Verb と Studio を引き続き使用することができます。これらは引き続き機能しますが、新しいグラフィック機能には対応していません。
- 他の VS3 Flux プラグイン パックをご使用の場合は、正しく機能させるために iLok認証が必要となります。

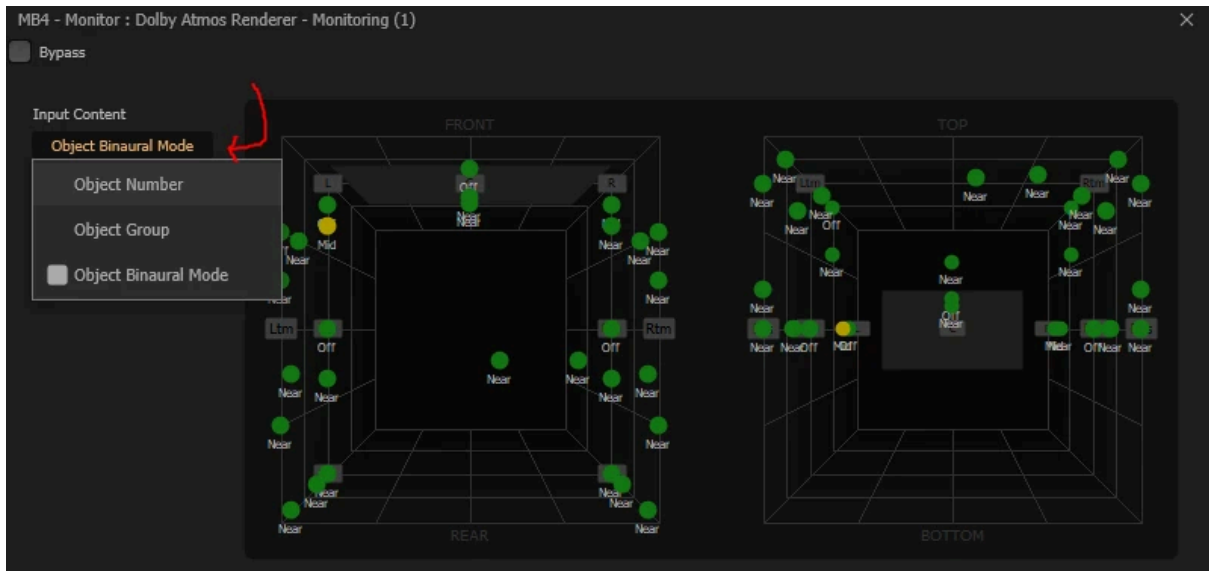
新機能: Dolby Atmos 内蔵レンダラー UI

Dolby Atmos 内蔵レンダラーには、ASIOバッファサイズが最低 512サンプル(Native)またはVSTバッファサイズが最低 512サンプル(MassCore)が必要です。

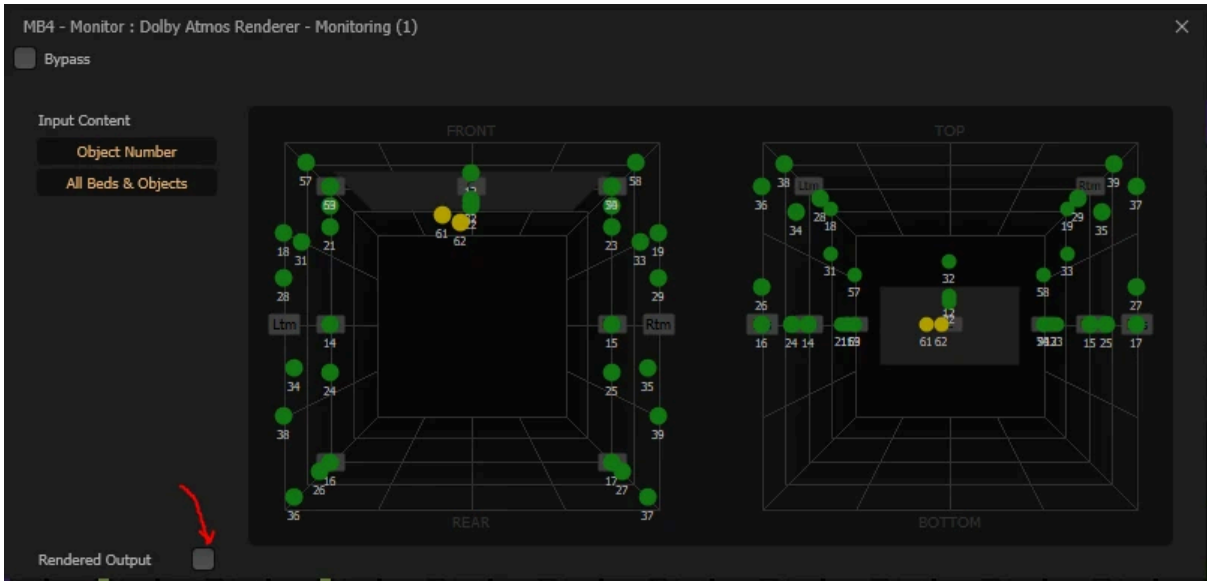
- Object View には、音がある Object のみが表示されます。色はオーディオ レベルに応じて緑から赤に変化します(Dolby Atmos Renderer のレベルと色の対応付けに準拠)。



- Renderer UI では、Object View に Object Number, Binaural Setting, Custom Group のいずれかを表示できるようになりました。

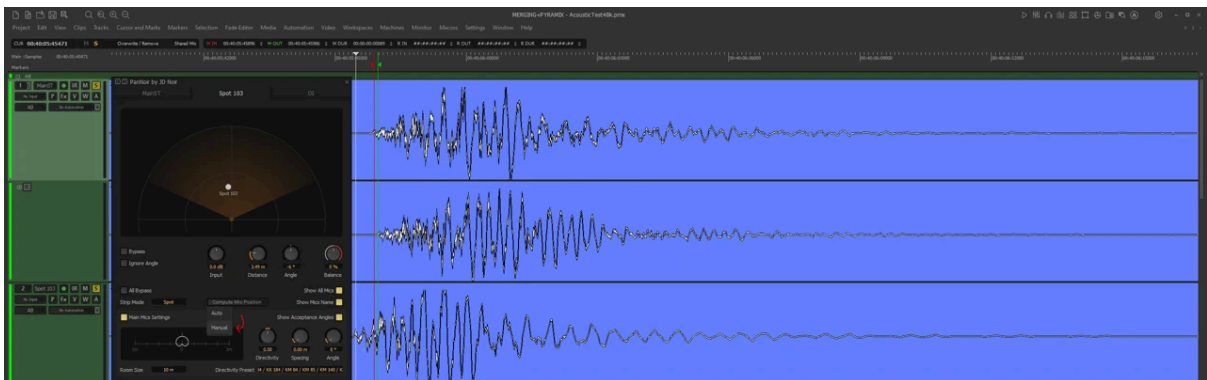


- 出力スピーカーを隠すことができるようになりました。



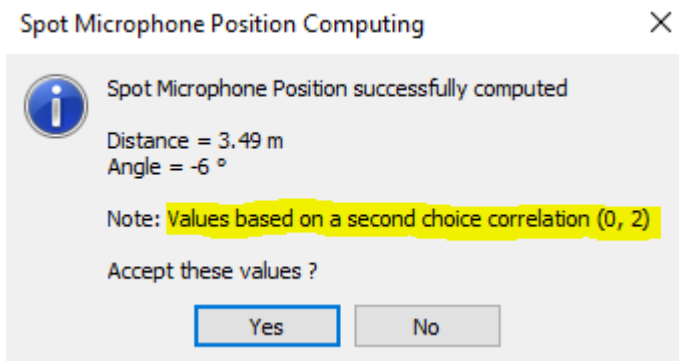
新機能: PanNoir Fixes/Improvements

- カーソルとタイムラインの IN/OUT マークを使用して、スポットマイクの位置を手動で計算できる機能を追加しました。



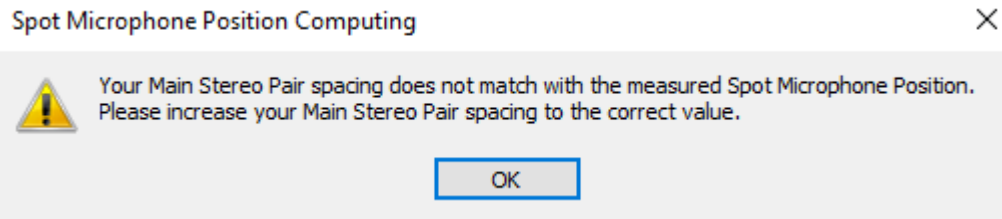
⚠ 手動位置計算の結果はカーソルの配置位置に左右されるため、最高の精度を得るには **Sample** スケールでズームインすることをお勧めします。

- “Auto” のポジション計算のアルゴリズムが改善され、計算結果の結果を使用するかどうかが表示されるようになりました。



理論的には 自動計算でマイク位置を見つける方が簡単です。

- 計算された距離から、メインペアの間隔が正しくないことが示唆される場合に、警告が追加されました。



Main Stereo Pair のスペースが Spot Mic の位置と一致しません。Main Stereo Pair のスペースを正しい値に増やしてください。

- UI/User feedback, ダイアログ ボックスに改良が加えられました。

その他

- 多数のトラックを持った Project の改善: Region / Clip の選択、多数の Clip の選択と Delete & Ripple
- MassCore: RAVENNA Advanced ページの UI が更新されました(更新作業中)。
- ミキサーバスレイアウト: Dolby 5.1.2 Front, Dolby 7.0.2 Front, Dolby 7.1.2 Front, Dolby 9.1.2 Front がそれぞれ Front 5.1.2, Front 7.0.2, Front 7.1.2, Front 9.1.2 に名称変更されました。
- Pyramix Elements パック: シングル ビデオトラック オプション が追加されました。

Dolby Atmos Renderer について

Dolby Atmos Renderer が Pyramix Mixer に組み込まれました。

※ 免責事項



Pyramix に統合された Dolby Atmos Renderer は、Dolby Laboratories による認証を待っています。そのため Pyramix 16 Beta で作成された Dolby Atmos ADM マスターはリリースすることはできません。

Pyramix 16 ではミキサーに Dolby Atmos Renderer (DAR) が搭載されました。

- DAR は Mixer の Plug-in として実装されており、Mixer の Bus にインサートする必要があります。
 - DAR プラグインをホストする Bus は、サポートされている DAR 出力フォーマットと互換性のあるチャンネル レイアウトを備えている必要があります。
 - 9.1.6
 - 9.1.4
 - 7.1.4
 - 7.1.2 (サイドまたはフロント)
 - 7.1
 - 5.1.4
 - 5.1.2 (サイドまたはフロント)
 - 5.1
 - Stereo

- 有効にすると DAR プラグインは Bus 出力を独自のレンダリングに置き換え、入力として現在の Dolby Atmos マスターの構成 (外部 Atmos レンダラーのサポートおよび Dolby Atmos ADM Export で使用されるものと同じ) を使用します。

PanMpir 2.0

- PanNor が Pyramix 16 の Mixer にインテグレートされました。以前の PanNoir VST も使用できます。
- Mixer の PanNoir mode を Enable にしてください (Mixer のメニュー: )
PanNoir が Enable になると、使用できる Mixer の Strip に自動的に加えられます。 
- Main Mic pair (stereo) と Spot mic (Mono - Stereo)
- Neuman Mic を Preset としてビルトイン
- PanNoir は Mixer の Panner の前で処理されるため、より正確なパンニングが可能
- 新しい PanNoir の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

Pyramix Native の チャンネル拡張

- Pyramix Native Pack の 物理 I/O 数が拡張されました。
 - Elements: 48 @1Fs - 24 @2Fs - 12 @4Fs - 2@DXD/DSD
 - Pro: 192 @1Fs - 96 @2Fs - 48 @4Fs - 24@DXD/DSD
 - Premium: 256 @1Fs - 144 @2Fs - 72 @4Fs - 36@DXD/DSD
- 再生 ソフトウェア チャンネルの最大バスサイズは 変わりません。

Note: 近日リリース予定の MAD 4.0 アップデートでは、チャンネル I/O 数が拡張され、2026年5月末に提供開始予定です。

ミキサーVSTの表示スケーリングに対応

- VSTプラグインが、Windowsの表示スケーリングに自動的に追従するようになりました。
- プラグインによっては、サイズ変更に対応している場合や、独自のサイズ設定を持つ場合、またはミキサーのスケーリング設定に従う場合があります。これはプラグインメーカーによって異なります。

Mixer からタイムラインへのエフェクトのドラッグ & ドロップ

- VS3 および VST3 ミキサーエフェクト は、ミキサーstripのエフェクトゾーンからタイムライン上の選択したクリップ、または選択したクリップの FX タブ にドラッグ & ドロップできます。

- ドラッグ & ドロップ操作を開始するには、**Alt + Shift** キーを押しながら操作する必要があり、タイムライン上でクリップを選択している必要があります。
- カスタムルーティング(サイドチェーンを含む)はすべて失われます。
- 既知の制限事項: VST2 プラグイン はサポートされていません。

その他

- **トラック数の多いプロジェクトの改善:**
トラック数の多いプロジェクトで、Undo/Redo、collapse/un-collapse,...などの操作を実行するのに必要な時間が改善されました。

ただし、一部のタブは表示時にパフォーマンスに影響を与えます。これらのタブは次のとおりです。

- Tracks
- Track Groups
- Play Lists
- Mastering
- Markers

操作を高速化するには、これらのタブを同時に表示しないようにするか、一度に1つのタブのみを表示するようにしてください。

通常、Markers タブは編集作業中も表示したままにしておくことができます。編集作業において非常に役立つからです。一方、Track タブと Track Group タブは設定作業用であり、使用後は閉じたり非表示にしたりできます。

- **Album Publishing** - Album Publishing 成功後にMTFFファイルを削除するオプション。
Album Publishing 設定に、Album Publishing 処理後に MTFF マスターファイルを削除するオプションが追加されました。
 - MTFF マスターファイルは、Album Publishing の処理中にエラーや警告が発生しなかった場合にのみ削除されます。
 - PMI または DSD Edited Master は、このオプションの対象外です。
 - Album Publishing 機能を使用するすべてのアプリケーション(Pyramix、DiscWrite、Album Publisher)で利用可能なオプションです。
- ARA Monitoring VS3 プラグインが Mixer の Add Effect メニューに追加されました。
- **Video Player:** ビデオ出力に常にタイムコードを焼き付ける(タイムライン上にビデオファイルが存在する場合)。
- **No Split on Region Selection Click** (領域選択時にクリックで Split しない): 選択メニューに新しいオプションが追加されました。領域を選択してクリックした際に 自動 Split を防止します。(キーボードショートカットエディタでこのオプションを利用できます)